

あゆみ坂

校訓／教育目標
誠実 明朗 協調 勇気

自立心と感謝の心をもち、
進んで他者や社会に貢献する生徒の育成
～笑顔の登校・感謝の下校～

宇城市立小川中学校

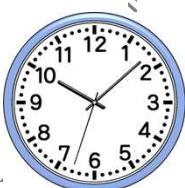
令和7年度第32号

(2.6)

文責 岩田 雅子

時間の使い方

「忙しすぎて時間が足りない」
「今日も一日が長い」
「時間がたつのを忘れてしまった」
「楽しすぎて時間の中でも時間が足りない」
「命の時間は違うが時間に 対していろんな不満を言う」
「最も平等なのが時間だ」
「世の中で時間の中でも時間の中でも自分だけ時間の支配者は自分だ」



受験真っただ中の3年生は、限られた時間の中、どんな時間の使い方をしているのでしょうか？必死に頑張っている生徒にエールを送りたいと思います。

さて、私の教員生活も残り2か月となりました。38年間を日数にすると1万3870日ということになります。膨大な時間を学校に勤めてきました。総体的に「忙しすぎて時間が足りない…。」と思うことが多かったように感じます。残された時間、お互いに考え方生活していきましょう…。

新入生説明会を実施してきました

1月30日(金)に、小中連携の一環として、本校の生徒(生徒会役員)が出身の小学校を訪問し、新入生説明会を児童向けに実施しました。11月末に一度、保護者・新入生向けに学校からの説明会を実施しましたが、中学校生活をもっと身近に感じてもらい、不安を和らげることを目的として実施しました。

当日は、代表の中学生が自らの経験をもとに、中学校での一日の流れや授業の様子、部活動、学校行事について分かりやすく説明しました。教科ごとの授業の違いや、定期テストへの向き合い方、委員会活動、事前に聞いていた児童からの質問事項への回答等、児童たちにとっては未知の内容もありましたが、年齢の近い先輩からの言葉に、真剣な表情で耳を傾けていました。中学生にとって、「伝える」立場になることで、自分自身の学校生活を振り返る貴重な機会となりました。

今回の交流を通して、小学生にとっては「中学校は楽しそう」「早く通ってみたい」という前向きな気持ちが生まれたのではないかと思います。また、中学生にとっても、地域の一員としての自覚や、先輩としての責任感を高める機会となりました。小中が互いに関わり合い、顔の見える関係を築いていくことは、子供たちの安心感や成長につながる大切な取組です。

今後も小中連携を大切にしながら、子供たちが安心して次のステージへ進んでいくように、教育活動を進めてまいります。

